



筑波大学メールマガジン“ペデジャーなる” 2016年5月-春号

—OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX

1. 筑波大学、春の新歓活動

— 4月に行われた新歓活動についてご紹介します。

2. つくば雑草メモ～美しき侵略者～

— 春の学内で出会った、気になる雑草の話。

3. 青い天国～ひたち海浜公園の魅力

— 筑波大生が殺到するひたち海浜公園の魅力をご紹介します。

4. 筑波実験植物園

— サクラソウを中心に見ごろだった花をご紹介します。

5. つくばとカエル

— つくばにいるカエルについて書きました。

6. つくばのおしゃれカフェ巡り

— つくばでおしゃれ気分を味わえるおすすめカフェ2件。



1 筑波大学、春の新歓活動



皆様、いかがお過ごしでしょうか。少し服装を間違えるだけで汗ばむ季節となり、筑波大学に新入生がやってきてから1ヶ月がたちました。今回は入学式から最近まで続いたサークルの新歓活動について、ご紹介したいと思います。

筑波大学の新歓活動は入学式の日の新歓本祭からスタートします。私は3年生ですので、去年に引き続き新歓する側として参加しました。今年の入学式は生憎の雨で、新入生は買ったばかりのスーツを着ながら傘をさし、広い構内を苦勞して歩いていたように思えます。親歓本祭の名物と言えば、大量のビラ配りです。各サークルが大量のビラを準備し、歩いて行くスーツ姿の新入生へビラを渡す、というより新入生が持っているビラの束にさらなるビラを容赦なく乗せていきます。私がビラを渡される側であったときは、なんだこのビラの数かと辟易したことを覚えています。しかし、いざ渡す側になってみると、ごめんねと心の中で謝りながらも、自分の手元にあるビラがなくなったときの達成感はなかなかのものでした。

入学式の夜から早速、サークルによる夜ご飯の呼び込みが始まります。一番賑やかなのは宿舎周辺です。「○○サークルで一す！」「今日は中華料理食べに行きます！」「今日の夕ご飯決まってるー？」などというかけ声が1時間ほど響き渡ります。新入生は上級生が作る通路をおそるおそる進んでいきます。静かに夜を過ごしたい宿舎住みの新入生にとってはかなり迷惑なんじゃないかと思いますが、この風景を見ていると、また今年もこの時期がやって来たのだなと実感します。新入生にとってご飯を無条件で奢ってくれるこの新歓活動に参加しない手はないでしょう。ちなみに私は3年生なのにも関わらず、去年も今年も他サークルに新入生と間違えて勧誘されてしまいました。もう少し大人っぽくなりたいものですね。

毎晩呼び込みの音が響き渡る新歓期間も終わり、ついに新入生が入りたいサークルを決め、正式に手続きをする時期になってきました。私はあるミュージカルサークルに所属しているのですが、私たちのサークルでも入団ミーティングというものを先日行いました。何人の新入生が入団しにやってきてくれるのかとわくわくどきどきしていたところ、なんと、予想人数の倍ほどの数の新入生が来てくれました。この新入生たちが、私たちのサークルに新しい風を吹かしてくれることを楽しみにしています。

3回目の新歓期間を通して感じたのは、サークルの決め手は「出会い」だということです。大学に入る前から、これをしたいからこのサークルに入ると決めていた人もいます。しかし、多くの方は、何か新しいことを始めたい、したいことは決まっていなくてもどこかのサークルに入りたいと考えながら新歓活動に参加します。その中で入るサークルを決めるには、人との「出会い」が大切でしょう。例えば、全

然興味はなかったけどたまたまご飯目当てで行ったサークルで先輩との良い出会いがあった、たまたま見たステージで感動した、などというのはよくあることです。新入生にはその「出会い」を求めたくさんの新歓に参加し、ぜひよい出会いを見つけて欲しいと思います。

皆さんの在学時はどのような新歓が行われていたのでしょうか。当時を懐かしく思い出していただけたら幸いです。それでは、ここまで読んでいただきありがとうございました。

(人文・文化学群比較文化学類3年 金久保響子)

2 つくば雑草メモ～美しき侵略者～

慌ただしかった春はあっという間に過ぎて、新緑がまぶしい季節となりました。皆さんにとってこの春は充実したものだったでしょうか。

さて、私にはこの春、気になっている植物がありました。小さなオレンジ色の可憐な花を咲かせる雑草で、4月に入ったころから大学構内や通学路のいたるところで目にするようになりました(写真は5C棟横の駐輪場です)。あまりにもけなげで可愛い見た目の花なので、普段雑草にはまるで関心のない私でさえ思わず足を止めて見入ってしまうほどでした。



この花の名前を知りたくなった私は「4月 花 オレンジ」などとキーワードを入力して検索。意中の花が「ナガミヒナゲシ」という名前であることをつきとめました。ヒナゲシなんだ～！ 名前も可愛いな～！ などと思いながらさらに詳しく調べてみようと思いつき検索ボックスに「ナガミヒナゲシ」と打ち込んだ私は次の瞬間、予測変換の最上位にでてきたワードに驚愕することになります。それは……「ナガミヒナゲシ 駆除」というワードでした。



ナガミヒナゲシとは、本来は地中海沿岸を原産とするケシ科の一年草で、日本では1961年に世田谷区で初めて発見された比較的新しい外来植物だそうです。そして、その最大の特徴は見た目の可憐さからは想像もつかない、驚異の繁殖力です。写真は花が落ちた後のナガミヒナゲシなのですが、名前の由来でもある2cmほどの縦に長い実のなかには、なんと平均1600粒もの小さな種子が入っていて、さらに1個体が100個の実をつけることもあるため、種

子の総数は最大で15万粒にも及ぶのだとか！ それだけでなく、ナガミヒナゲシの根から出る物質には周辺の植物の生育を阻害する働きまであるそうです。そのため農地への侵入や生態系の破壊を食い止めるべく一部地域では駆除が行われているということでした。

春先からあらゆる場所でこの花と出会っていたのは、運命ではなく必然だったという訳ですね。今ではこの花をみかけると、これが来年には15万倍に……！ と恐怖すら感じてしまいます。……が、それでもやっぱり可愛い花なんですよ。なんというか、好きな女の子が実はかなりの悪女だったけど嫌いになりきれない男子みたいな気分です。そんなちょっとほろ苦い日常を味わいながら、私の春は過ぎて行ったのでした。

(人文・文化学群比較文化学類3年 助川まりえ)



3 青い天国～ひたち海浜公園の魅力



毎年、この季節になると筑波大生がこぞって行くのがひたちなか市にある国営ひたち海浜公園です。大学4年目にして、とうとう私も行くことができました。

皆様の中にも学生時代に行かれた方がいらっしゃるかもしれませんが、この季節ならではのひたち海浜公園の魅力をご紹介します。

1.約 450 本のネモフィラの丘

この季節に学生がひたち海浜公園に殺到する理由—それはネモフィラが見頃を迎えているためです。



ネモフィラの和名は「瑠璃唐草(るりからくさ)」。英名は「ベイビーブルーアイズ」といい、その鮮やかな青色の愛らしい花姿を表しているようです。ネモフィラという名前もギリシャ語の「ネモス(小森)」と「フィレオ(愛する)」が合わさった言葉で、森林の周辺に生息していることに由来しています。この可愛い青い花があたり一面に咲いている光景を求めて、多くの筑波大生が足を運んでいるようです。

私も今まで友人が撮影したネモフィラの写真を眺めながら「来年こそは行こう」と思い続けようやく今年行くことができましたが、実際は写真よりも圧巻の光景でした。



2.レンタサイクルで花を愛でる



ひたち海浜公園には自転車をレンタルできる場所があり、自転車を使って公園内を巡ることができます。今回私も友人たちと自転車を借り、公園内を走りました。

暑すぎず寒すぎない季節だったため、自転車で駆け抜けると気持ちのいい風を感じることができます。また、写真の右端のようにネモフィラの丘を傍目に走行することが

できるので、春の花々を愛でながら楽しめます。

3.パークゴルフでゴルフの楽しさを知る



そして今回、私が一番楽しかったのは、公園内にあるパークゴルフでした。

パークゴルフは 1983 年に「公園で幅広い年代の人ができるスポーツ」として北海道十勝支庁幕別町で考案されたスポーツです。ゴルフの楽しさを存分に感じながら、ゴルフ初心者の私でも気軽に行うことができました。9ホール 500 円、18 ホール 800 円で体験できます。

爽やかな風を受けて友人たちと行うパークゴルフは格別でした！

この季節ならではのひたち海浜公園の魅力を感じて頂けたでしょうか？

今年のネモフィラの見頃は過ぎてしまったようですが、5月21日から6月5日にかけては「茨城バラ祭り」として120品種以上のバラを楽しむことができますので、ぜひ行ってみたいはいかがでしょうか。

(社会・国際学群社会学類4年 新田萌夏)

4 筑波実験植物園



皆さま、いかがお過ごしでしょうか。春といえば花ということで、今回は筑波実験植物園で見た花についてご紹介したいと思います。

4月16日から4月24日まで、筑波実験植物園で「さくらそう品種展」が開催されました。今回の品種展では、100種類以上のさくらそうの展示や、さくらそうの歴史・種類などが説明されたポスター、人気の品種が飾られたコーナーなどがありました。

さくらそうは江戸時代から庶民に愛されてきた花で、武士が競って品種改良を行っていました。そのため、現在では 300 を超える品種があるそうです。色も形も多様で、思わず圧倒されてしまいました。

さくらそうの品種の名前は様々です。「漁火」や「伊達男」、「艶姿」など花の名前とは思えないような名前



前がたくさんありました。また、「さくらそう」名前には時代背景が反映されている」と解説員の方に伺いました。それを聞き、誰がどのようなことを考えて名前を付けたのか、想いを馳せずにはいられませんでした。

例えば、この「戦友」は、戦争で亡くなった友人を想って名付けられたものなのではないでしょうか。しばらくの間、感傷に浸っていました。



私が一番気に入ったのは、この「夕暮」です。比較的小ぶりです。紫色の花が儂い感じがしました。

かつては日本各地で春先にピンク色の可愛らしい花を咲かせていた野生のさくらそうも、現在は絶滅危惧植物に指定されています。日本原産のきれいな花がなくなってしまうたらとても悲しいですね。さくらそう品種展を通して、環境について改めて考えさせられました。

せっかく筑波実験植物園に来たのだから、と他の植物も見て回ることにしました。特に見ごろだった花についてご紹介します。

まずは、ポタン。ここまできれいに咲いているポタンは初めて見ました。写真を撮っている人がたくさんいました。



次は、この鮮やかな紫色の花です。原産は熱帯アメリカで、シコンポタン属の一種と紹介されていました。雄しべでしょうか、形が独特ですね。



最後に、ヒスイカズラ。神秘的な花ですね。このような色の花があるなんて知らなかったので、とても驚きました。花びらの細胞がアルカリ性であるため、ヒスイ色になるそうです。個人的にはこの花が一番気に入りましたが、温度は最低でも10度以上必要ということで、育てるのは難しそうです。残念です。



筑波実験植物園は“堅苦しい場所”と思っていましたが、日常から離れ自然を感じることができ、とてもリラックスできる場所でした。また違う季節に訪れてみたいと思います。皆さんも、つくばに戻ってきた際には是非足を運んでみてください。街の喧騒から離れ、リフレッシュできると思います。

(生命環境学群生物資源学類3年 深作歩美)

5 つくばとカエル



桜が散り、段々と暖かい日が多くなってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

突然ですが、私の下宿は、大学の中心から外れた田んぼが多い付近にあり、この5月～6月にかけての季節は、夜になると田んぼからカエルの大合唱が聞こえてきます。今回は、その鳴き声が気になったのをきっかけに、つくばのカエルについて書こうと思います。

まずは普通のカエルです。家の近くで鳴いているカエルはどんな種類かと思い、大合唱の中その姿を探してみました。ですが、カエルが鳴くのは夜であり、その日はちょうど雨だったため視界が悪く、カエルの姿を見ることは断念……。代わりに、その「ゲツゲツゲツゲツ」という断続的な鳴き声を調べてみた結果、鳴いているのはニホンアマガエルという種類でした。日本各地で多く見られる種類らしく、水辺や田んぼの傍に住まわれていた方にとっては懐かしく感じる鳴き声ではないでしょうか。

カエルがこの時期に一齐に鳴くのは、主に繁殖のためだそうです。鳴いているのはオスのみで、メスを惹きつけるために鳴き声で知らせているのです。あの鳴き声が全て求愛の歌だと考えると、すごいですね。

そして、つくばでカエルと言えばもう一つ。筑波山の名産品である、ガマの油です。

ガマの油とは様々な効果を持つ塗り薬のことで、ガマの分泌する油をもとにしている……と思いきや、その名前の由来は違うところにありました。実際の由来は、江戸時代の筑波山中禅寺の住職であった光誉上人という人が作る薬が評判で、その光誉上人の顔がガマのようだったため「ガマ上人の油薬はよく効く」と言われ、薬の名前が「ガマの油」になったそうです(若干ひどいですね)。そして、ガマの油を商売として広めるために「ガマの油売りの口上」という宣伝文句が考えられ、評判が広まったそうです。そんな背景があったとは知らず、今回の記事を書くにあたり調べていて驚きました。

この「ガマの油売りの向上」は伝統芸能になっており、それを題材にした落語もあります。その語り口は見ていて面白く、とても惹きつけられます。筑波山を訪れた際には実演がされているので是非見てみてはいかがでしょうか。

というわけで、今回はつくばの田んぼのカエル、筑波山のガマの油と、カエルに関しての記事でした。これから雨が増えるにつれ、カエルの鳴き声を聞ける機会も増えるでしょう。静かな雨の中、時には彼らの声をじっくり聴いてみるのも良いと思います。また、筑波山にはガマの油ゆかりのものが多くあります。山登りなどの際に訪れた際は、ぜひ訪ねてみてください。

それでは、ここまで読んで下さり、ありがとうございました。

(情報学群知識情報・図書館学類4年 増田空)

6 つくばのおしゃれカフェ巡り



筑波大学の周辺には、飲食店が沢山ありますよね。中でも多いのは、ラーメンやカレー、デカ盛り有名店など、こってり系・ボリューム重視の学生向けの店です。卒業生のみなさんもよく行かれたのではないのでしょうか。

そんなつくばですが、実はおしゃれ系カフェも頑張っていて、毎日多くの女子学生でにぎわっているんです。今回は、私が最近行ったつくばで人気のおしゃれカフェ2軒をご紹介します！

* プラスワンカフェガーデン (PLUS-1 CAFE GARDEN)

茨城県つくば市桜 3-15-3

11:00~21:00(L.O.20:00)



←ライトアップされたテラス。
外国へ来たみたいですよ

まずは、つくばカフェ界では定番のこのお店から。桜地区の大通りを奥まで行った場所にあります。店に着いてまず目に入るのは、開放感のあるテラス。店内から眺めるだけで非日常感を味わえます。私が訪れたディナータイムにはライトアップされていました。



お料理は、ランチ・ディナー共にワンプレートメニューが中心。お値段は1000円前後です。私は牛すじのデミグラスソース煮とガーリックライスのプレートを頂きました。牛すじがとろけるほど柔らかく、上品な味わいでとてもおいしかったです。

店内は広めで、ゆったり快適に過ごすことができました。食後も店員さんがいい頃合いに水を注ぎにきてくれ、ついつい長居してしまいました。友人とのおしゃべりが弾みますね！

***カフェ クレマチス (cafe Clematis)**

茨城県つくば市春日 4-5-7 クラモチ春日マンション 1F

[火～土] 11:00～15:00(L.O.14:30)、18:00～21:30(L.O.21:00)

[日] 11:30～15:00(L.O.14:30)



次は、女子学生の間で密かに人気の「おにぎりカフェ」をご紹介します。場所は、学生向けのアパートが林立する春日地区。少し分かりにくいところにありますが、店内はいつも若い女性でいっぱい。確実に席をとるなら予約して行くのがベターです。このカフェの売りは、なんといってもおにぎりです。おにぎりとおかず、汁物が付く「おむすび2個セット」(750円)または「おむすび3個セット」(850円)がメインメニューで、好きなおにぎりの味を選ぶことができます。おかか、明太子など定番の味はもちろん、「高菜&明太マヨネーズ」、「ひじき&しば漬け」、「青とうがらしみそ」などオリジナリティー溢れるものまで、その数なんと約40種類！魅力的なものばかりで、目移りしてしまいます。迷った挙句、私は「チーズ明太」と「ポークキムチ」をセレクト。おにぎりは玄米か白米か、またおかずの種類も選ぶことができ、自分好みの一皿を頂けます。おにぎりはほどよい柔らかさで、味は濃すぎず優しい味。大満足でした。他の味にもトライしてみたくくなりますよ！

▲おむすび2個セット。好きな味のおにぎり2個のほか、日替わりの選べるおかず(写真はサケフライ)、汁物(写真はお味噌汁)、サラダがついてきます。

ボリューム満点の食事魅力的ですが、たまにはカフェで上品な気分を味わうのも素敵ですよ。卒業生のみなさんも、つくばに訪れた際はぜひ足を運んでみてください。

(生命環境学群生物学類4年 添島香苗)



🍷編集後記

ペデジャーなる春号を読んで下さり、ありがとうございました。新年度となり様々なことが忙しく変わり始める中、記事を読んで少しでも何かを思いを馳せていただけたら嬉しいです。

改めて、去年から引き続き記事を書かせていただくとともに、今年度のペデジャーなるの編集長を務めさせていただくことになりました、増田と申します。まだまだ未熟ではありますが、宜しくお願い致します。さて、今年度は編集部には新しいメンバーが多く入り、今回の記事は主に新メンバーの方が執筆を担当しています。編集長という立場ですが、どの記事も読んでいてとても興味深く、楽しませていただきました。これからの季節の記事を考えると、心強くあるとともに楽しみです。

編集部は新たなものとなりましたが、これからもペデジャーなるを読んでいただいている読者の皆様に楽しんでいただけるよう、記事作りに励んでいきたいと思っております。それでは改めて、本年度もペデジャーなるを宜しくお願い致します。

情報学群知識情報・図書館学類4年 増田空

🍷おしらせ

<「ペデぶろぐ」について> ペデジャーなるのブログを開設しています。投稿内容は「ペデジャーなる」の配信に関するお知らせやミーティング風景などなど。「ペデジャーなる」をもっと身近に感じていただけたらと思います。また、ペデぶろぐには連絡フォームもございますので、気軽にご要望や感想も送信することができます。

「ペデジャーなる」とともに「ペデぶろぐ」もよろしくお願ひします。

<http://pedejournal.blogspot.jp/>

<「筑波大学校友会カード」について>



平成 27 年4月1日から筑波大学公式クレジットカード「筑波大学校友会カード」事業がスタートいたしました！インターネットからもお申込みいただけますので卒業生の皆様もぜひご利用ください！

詳しくは、<https://alumni.tsukuba.ac.jp/cashcard.html> をご覧ください。

●筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>

●筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

●筑波大学校友会 SNS「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>

(筑波大学校友会 SNS／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中!)

●編集・発行:「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ

●デザイン・配信作業:国立大学法人筑波大学連携・渉外室

●ご意見・問い合わせ先:国立大学法人筑波大学 連携・渉外室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

●配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

gakuyu@un.tsukuba.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

Copyright © 2014 University of Tsukuba. All Rights Reserved.